

eL-QR を活用した地方税以外の公金収納の開始について

1 要旨・目的

県民の利便性向上や歳入の効率的確保を図るため、公金の電子納付やコンビニ、ゆうちょ銀行での収納及びスマートフォンアプリによる収納等、多様な納付方法への対応を順次進め、納付機会の拡大に取り組んできたところであるが、令和 8 年 9 月 24 日から、地方税統一 QR コード（以下「eL（える）-QR」という。）を税以外の公金納付に拡大することにより、更なる利便性の向上と納付機会の拡大を図る。

2 現状・背景

eL-QR については、既に地方税の収納で活用されているが、これを地方税以外の公金収納についても活用するため、国及び地方税共同機構においては、令和 8 年 9 月 24 日の開始に向けて、eLTAX（えるたっくす）の改修、関係法令の整備等の取組を進めている。

eL-QR による公金収納は、①住民・事業者の利便性向上、②金融機関の事務負担軽減、③地方公共団体の事務負担軽減の 3 つのメリットの実現を目指すものとして、国においても全国的な導入に向けた地方公共団体への積極的な検討が要請されている。

広島県では、システム改修等の環境整備を行うことにより国からの要請に応えるとともに、eL-QR による納付機会の更なる拡大により、「広島県行政デジタル化推進アクションプラン」に基づくキャッシュレス決済の拡大にも資することとしている。

3 概要

(1) eL-QR に対応したシステム改修の実施

財務会計システム等を改修し、eL-QR に対応した税以外公金の納付書を発行する。

(2) 期待される主な効果

ア 決済サービスの拡大

eL-QR に対応した納付書により、47 事業者・29 アプリで支払可能となる予定。

イ 金融機関窓口納付の拡大

広島県が指定する金融機関だけでなく、全国の金融機関で支払が可能となる予定。

ウ 収納管理事務

eL-QR に対応した納付書のデータは、指定金融機関を経由して財務会計システムに連携・取込される。

(3) 予算

52,944 千円（システム改修にデジタル活用推進事業債を活用）

(4) 今後のスケジュール（予定）

○ 令和 8 年 8 月

eL-QR を活用した地方税以外の公金収納開始に係る、広島県ホームページの開設

○ 令和 8 年 9 月 24 日

eL-QR に対応した納付書の発行開始